

平標山登山道整備2025

活動報告

・

参加者アンケート結果

平標山 登山道整備：実施概要

実施日：＜事前学習＞ 2025年8月4日（月）19:00-20:00

＜整備本番＞ 2025年8月10日（日）・9月26日（金）

主催：群馬県自然環境課 | 谷川岳エコツーリズム推進協議会

協力：環境省谷川管理官事務所 | みなかみ町観光商工課 | 株式会社 山屋

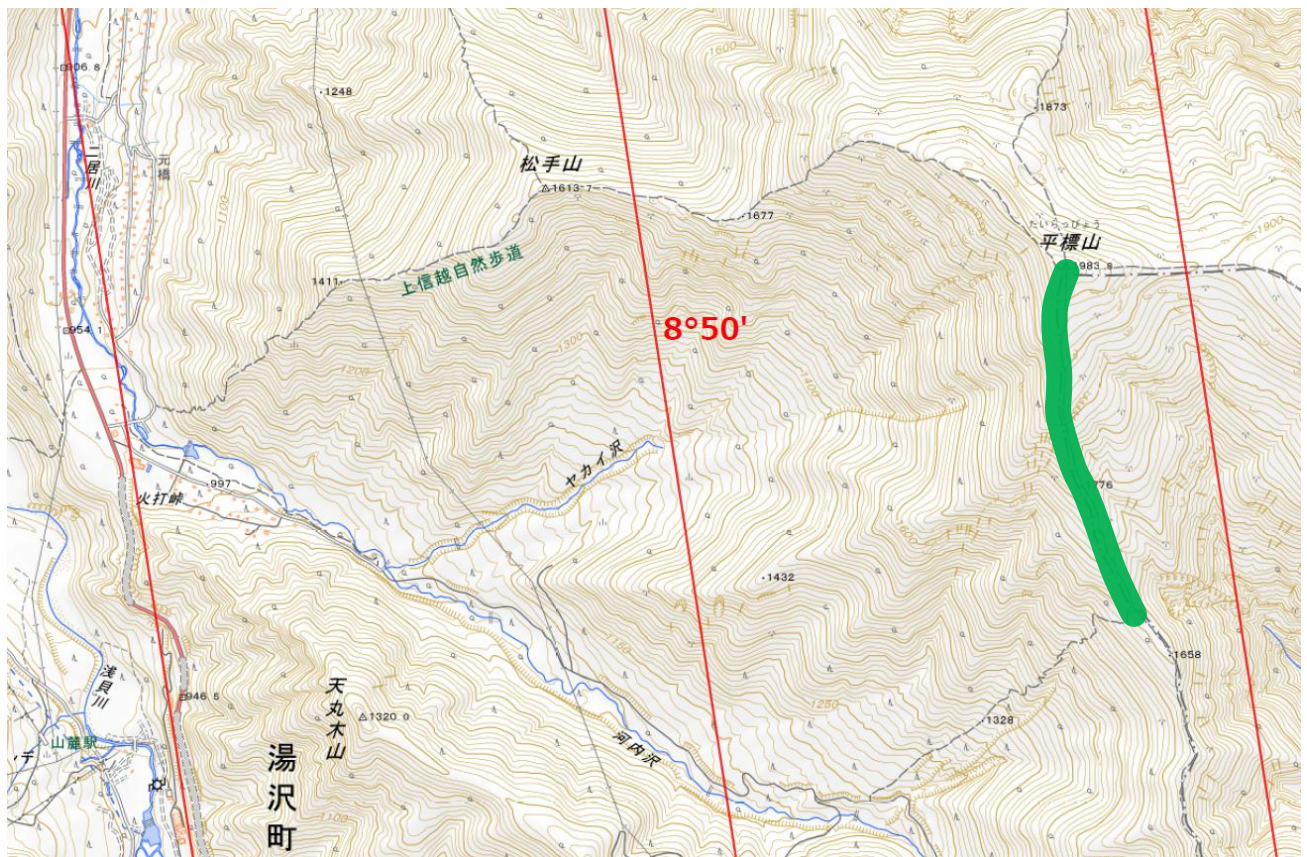
実施場所：平標山の家から山頂直下までの区間（下図 緑色のラインの部分）

実施概要：① 土砂が詰まり機能不全に陥っている側溝を掘り出す（全36カ所のうち、優先度高い箇所）
② 側溝から掘り出した土砂や、付近にある大きな石などをステップ構築班に歩荷する
③ 大雪・極端な融雪により破損した木製階段のあった場所にステップを構築する

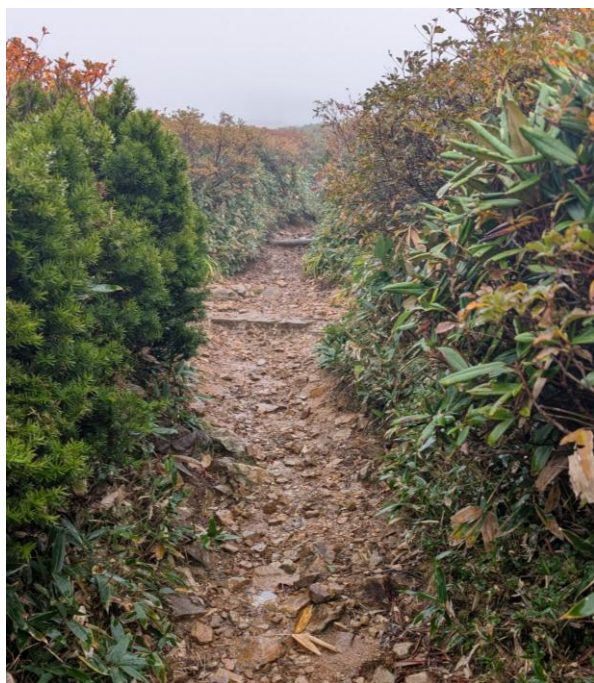
募集方法：・ YAMAP公式アカウントにて 一般参加者を募集した

参加者： **計41名**

⇒（一般）23名（関係者）18名



■ 実施報告-2 回目の活動：ステップ構築



雨水により洗掘の進んだ箇所。
ステップが無いと更に土壌の流出が進む。



水の勢い・踏圧を弱めるためステップを構築。
側溝の土砂を敷き詰め、土壌を嵩上げした。

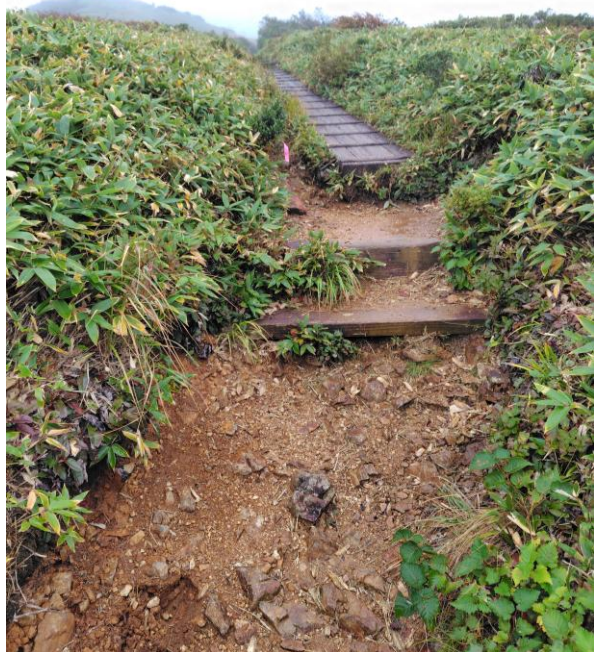


大量の降雪、及び一気に融雪したことにより
破損した木製階段。放置すると土壌の流出や
登山者の怪我を誘発する可能性が極めて高い。



水の勢い・踏圧を弱めるためステップを構築。
破損した階段の端材、及び側溝から掘り出し
た土砂を活用して歩きやすい高さになるよう
構築した。

■ 実施報告-2 回目の活動：ステップ構築



雨水により洗掘の進んだ箇所。
ステップが無いと更に土壌の流出が進む。



水の勢い・踏圧を弱めるためステップを構築。
側溝の土砂を敷き詰め、土壌を嵩上げた。

※ 施工前の写真なし ※

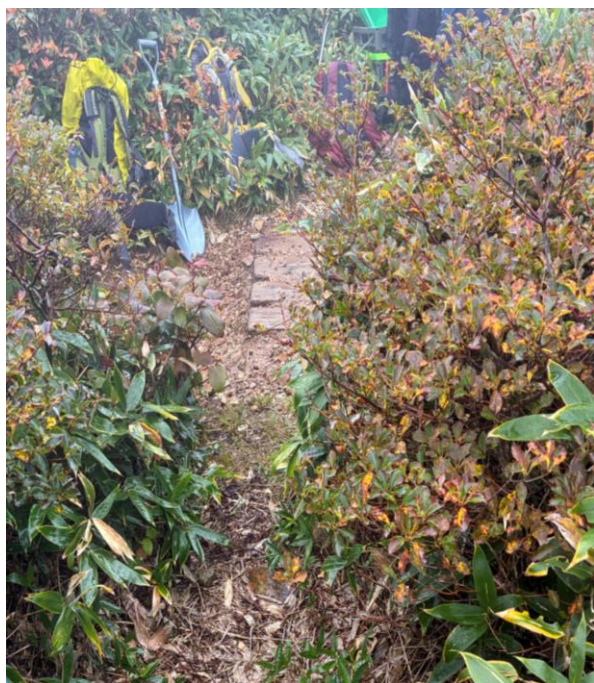
ステップが無く、土壌の流出が懸念される箇所。

水の勢いを弱めるようなステップを新たに構築。
既に土壌の流出が進んでいたことから、
側溝班が掘り出した土や笹の葉を敷き詰めた。

今は柔らかいステップだが、今後登山者が歩く
ことにより踏み固められ、安定したステップに
なる、



■ 実施報告-2回目の活動：側溝掘り



長年、土砂が積み機能不全になった側溝。流れる場所を失った水が登山道にあふれ土壌を削ったり、水を嫌う登山者が登山道横を歩くことで植生が脅かされている。



笹の根が張り巡らされている側溝の中を、パール・剣スコ・ジョレンを駆使して土砂を掘り出した。また時間が経てば土砂は積もるので、継続したモニタリングが必要となる。



側溝がどこから始まっているのか見分けがつかない状態から活動開始。
笹の根が作業を邪魔し、非常に重労働。



半日以上かけて側溝の機能を取り戻した。
掘り出した土砂は、ステップ構築班のもとへ歩荷した。

■ 実施報告-2 回目の活動：側溝掘り・歩荷



完全に埋まってしまった側溝.



山頂に近い側溝も水の流れ道ができたため、今後の経過観察が楽しみになった.



側溝から掘り出した土砂は土のう袋に入れる。
笹の根を含む土砂や、泥状になった土砂、石が多い土砂など中身によって袋を分けると使いやすい。



背負子で土のう袋を歩荷。
雨に濡れた土は非常に重い。

1回に最大でも2袋にするように伝えた。



平標山の家・小屋番の山口さんが歩荷を手伝ってくれた。

■ 実施報告- 活動成果のまとめ

▷ ステップ構築：

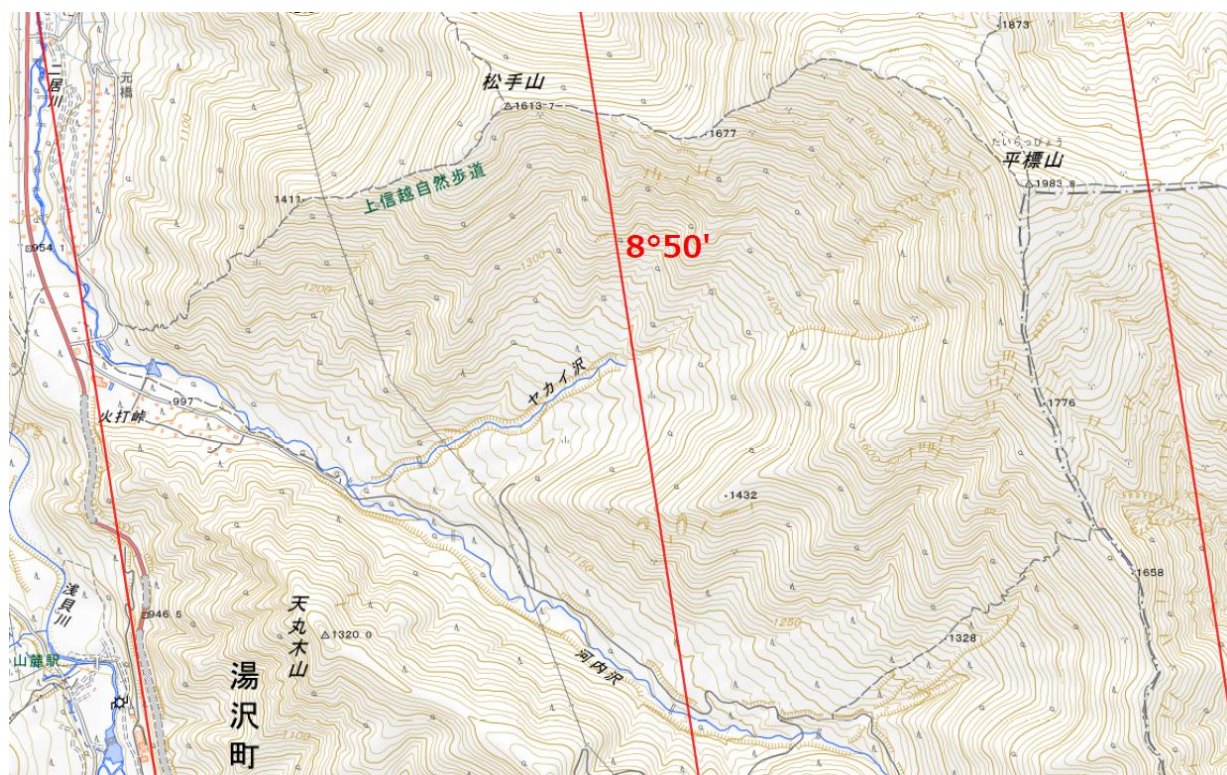
1 回目	2 回目
・ 山の家→山頂までの中腹あたりにおいて 計 4 か所ステップを構築	・ 中腹⇄山頂間において 計 4 か所ステップを構築

▷ 側溝掘り：

1 回目	2 回目
・ 山頂までの中腹区間において 計 8 か所の 側溝の機能を回復した	・ 中腹⇄山頂間において 計 3 か所の側溝の機能を回復した

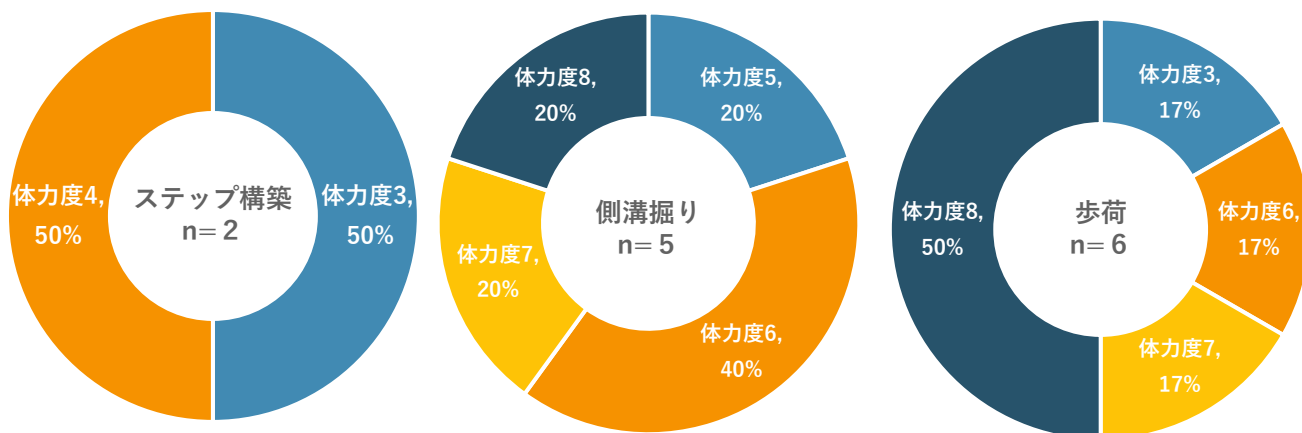
▷ 土嚢の歩荷：

1 回目	2 回目
・ 側溝班が掘り出した土砂を ステップ構築班の元へすべて届けた	・ 指定された 9 か所に土嚢袋を 約 4 0 袋ほど歩荷した



平標山 登山道整備：2 回目 - 参加者アンケート

【1】活動内容 – 主に担当した活動の体力負荷について



【2】活動内容 – 特に大変だった内容

* 自由記述

■側溝掘り：

笹の根の切断

側溝に伸びた笹の根がスコップで掘るのに大変だった

掘る深さ、長さの加減などです

側溝を掘る作業は少し腰に負担がありました

■歩荷：

歩荷はキツくて仕方がない！

歩荷の計画がイマイチ分かりにくく、組織だって動くことが出来なかったのも、無駄に体力を消費することがあった。

階段が滑るので運び辛かった

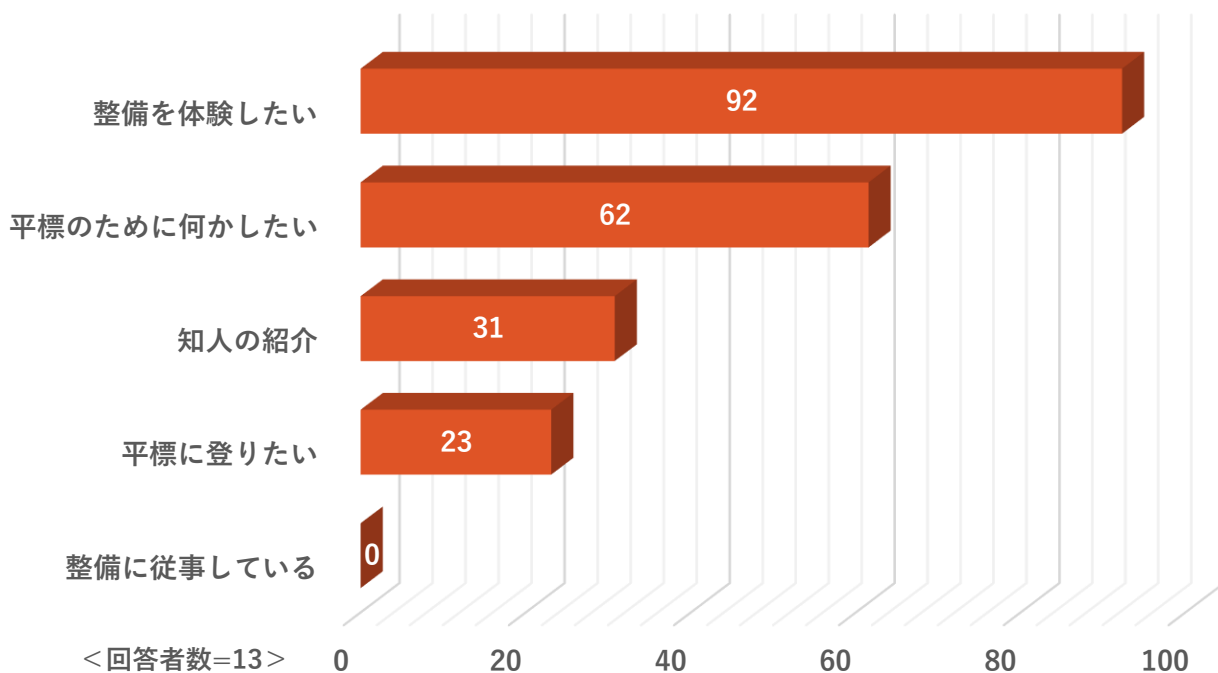
既に詰められた土嚢のうち、岩石がメインの非常に重い土嚢を運ぶときはさすがキツかったです

土嚢を背負子に入れて担ぎ木道を下る作業をしました

平標山 登山道整備：2 回目 - 参加者アンケート

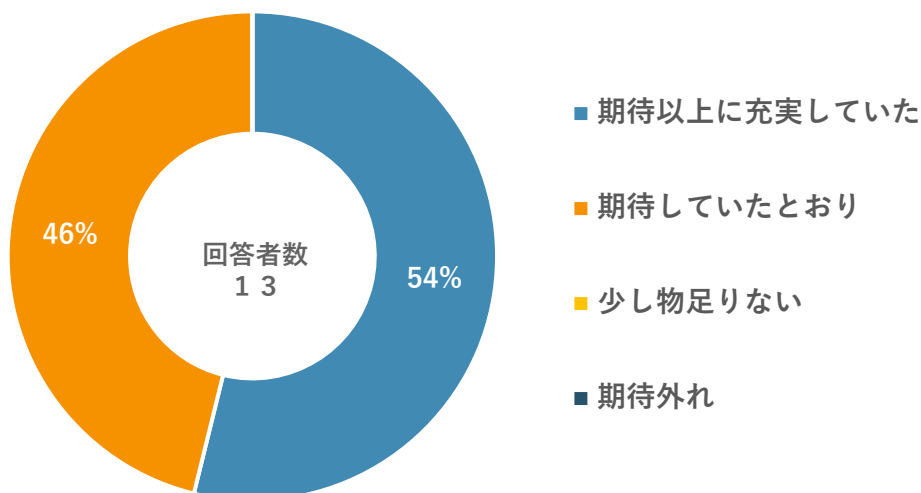
【3】平標山登山道整備に参加しようと思ったきっかけ

* 複数選択可



- ・回答者のうち、ほぼ全員が「整備を体験したい」を選択した
- ・半数以上が「平標山のために何かしたい」と願い、その方法として今回参加してくれたことが分かった

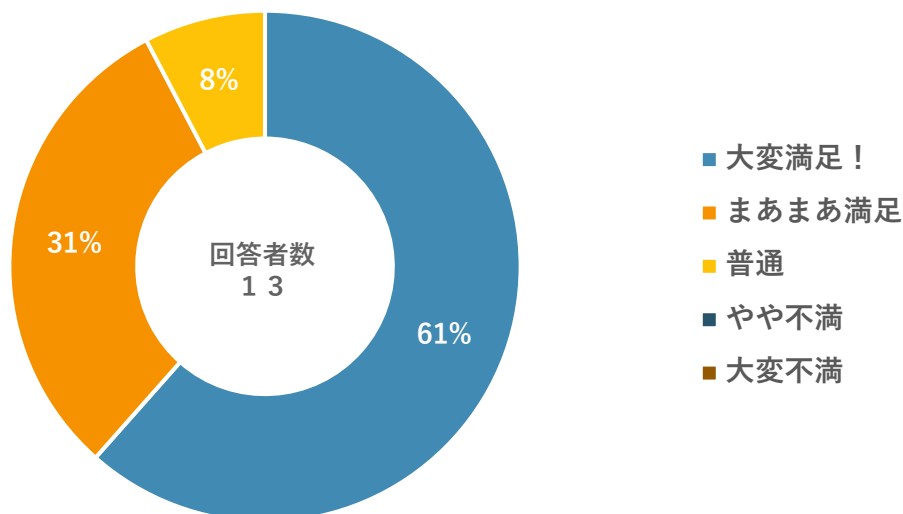
【4】活動内容について思うこと



- ・2 回とも参加しアンケートに回答してくれた13名は、「期待以上」「期待していたとおり」充実していたと回答し、「物足りない」「期待外れ」と回答した人はいなかった

平標山 登山道整備：2 回目 - 参加者アンケート

【5】活動全体に対する満足度



目的を共有した仲間と協力しながらの作業は楽しかったです
また 作業を通じて友人が増えたことは自分の人間力向上にも繋がったと思います

厳しい環境下のなかで、和気あいあいと作業が出来たこと

非常に良い体験になった

みんなでわいわい作業するのはとても楽しかった。
登山道整備の大変さを理解でき、**今後登山をするときにより登山道を大切に出来るようになった**と感じられた。

前回作業の成果を確認できたこと。前はステップ作業でしたが、今回は側溝作業を体験できました
登山道について考える様になった

もう少しできなかったか、自分の力不足を感じた

山のために皆で作業し、気持ちが良かったです

参加者との交流や、山との向き合い方を考えさせてもらえたことです

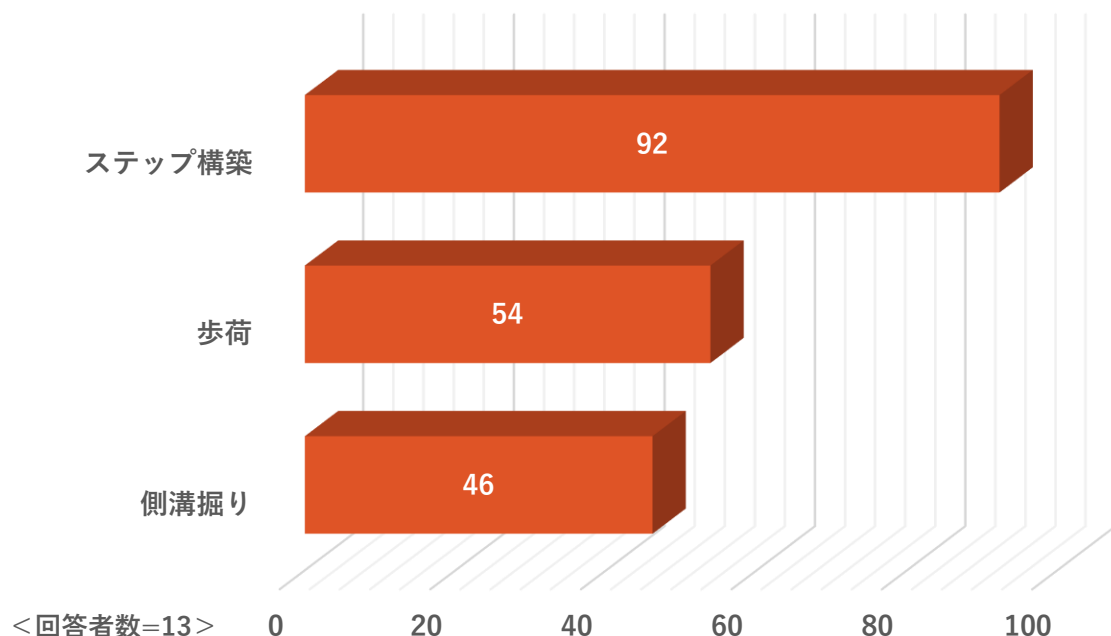
楽しく参加できました

元々、みなかみでは赤谷プロジェクトに参加し、南アルプス（静岡県側）の高山植物保護活動にも参加していて、ただ歩く・山頂を踏破することより肌身に感じる歩き方をしてきたので、今回のような山をより一層身近に感じ、あるいは自分の庭のように思えるようになるような活動に参加できたことはとてもうれしいです
いろんな人に参加してもらって、山のことを大事に感じて欲しいですね

平標山 登山道整備：2 回目 - 参加者アンケート

【6】今後、体験／実施してみたい活動

* 複数選択可



・回答者のうち、ほぼ全員が「ステップ構築を体験したい」と回答した

【7】活動全体をとおして気づいたこと・ご意見

ゲートがある登山道に車で乗り入れる場合、所属部署もしくは作業内容を車外に表示した方が
良いと思います。

大変お世話になりました。

中島様、伊藤学リーダーに大変お世話になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

1 回目より全体的に和やかに進められたのではないのでしょうか。引き続き応援していきたいです。

▷昼食時間の取り方の工夫

天候、地理的に仕方がないが今回の作業ポイントからの往復は、作業時間に相当影響しました。
林道の車両移動は時間短縮出来たので、集合時間を7時にして、作業時間への割り当ては可能か？

▷登山道整備中の告知

登山客へ対して、登山整備中(区間・時間情報等)である旨、**立看板などで告知した方が良い。**

谷川岳 登山道整備①：参加者アンケート

【7】活動全体をとおして気づいたこと・ご意見

狭い作業範囲で作業員が多いなか、道具を使うので危険。

休む、見る、作業するをきちんと分けると安全。

また、**作業手順をあらかじめ決めておく**と**効率良く作業ができる**と思う。

趣旨が違うかもしれないが、5分でも**平標山を学べる講話があっても良かった**のでは。

側溝堀であれば、掘る前に**地下の根を切断する道具（できれば動力付き）があれば便利**だと思います。シャベルや手探りで地下の根を切るのが、思った以上に大変でしたので、記入させていただきました。

名札とゼッケン、あまり掲示していませんでしたが、「整備中」の札をと、色々ご用意いただいたのはとても良かったと思います。

名札のおかげでメンバー間でも名前呼びしやすくなり、班分けも提示していたのでわかりやすかったかと思えます。

またゼッケンによりリーダーあるいは主催者側の人であることも一般参加者から判別しやすくなったと思います。（用意するのに手間だったかと思いますがありがとうございます！）

また、「整備中」の掲示は、平標の場合は山頂の分岐口に置いておけば、一般の方も別ルートでの通行を判断して、通常より少し整備中ルートを避けるようにしてくれるのではないかと思います。

（今回については天候と平日なこともあり、問題ありませんでしたが）

前回には書き忘れましたが、**説明会のツールとしては「Zoom」をおすすめ**します。

「Teams」に比べ、ほとんどタイムラグが発生しませんので、特に質疑応答等ではスムーズに会話できます。

また、会議においては参加者へのお願いとして、（ネットワーク事情が遅い環境の方は特にですが）

発言者あるいは、スタッフ側の顔出ししての自己紹介時以外は、カメラOFFを推奨します。

自分の会社（IT系）でも、ネットワーク負荷とタイムラグの抑制を鑑み、ほとんど顔出しはしていません。

来年以降も可能な限り参加したいと思います。

是非（前回も記載しましたが）**参加条件については日程のAnd条件ではなくOr条件（場所・日程を提示し、選択応募）ができれば**と思います。土日休みの人に平日は計画的に休日取得が必要なので。

また、なるべく早く日程が提示されるとありがたいです。（最低でも1か月以上前）

募集に際してHPにて告知とおっしゃってましたが、町のHPを日々チェックとか到底できないので・・・

1. 今回参加された一般の方には、最初からメールでも告知いただければ。

（以後、参加者をメーリングリストに追加。不要の申し出があれば削除）

2. HPのみではなく、リンクでいいのでFaceBook、X（Twitter）

（平標山の家、谷川岳肩の小屋にも掲示依頼する）等、なるべく目が届く形で配信いただければと思います。（今回はすぐたまたま、赤谷Prjのメンバーの一人がこの情報をキャッチし、私がいつも平標に行くのを知っていたので教えてくれた、という人伝のパターンでした。しかも締め切り直前）

色々書きましたが、ぜひ今後も良い活動として継続されることを期待しています。

ありがとうございました。お疲れさまでした！



2025/8/10：平標山登山道整備 1回目終了後の集合写真



2025/9/26：平標山登山道整備 2回目終了後の集合写真

いっぽずつ、すこしずつ🌱